

学校だより



平沼

横浜市立平沼小学校

平成31年 4月26日

Mail ; y3hiranu@edu.city.yokohama.jp

URL ; <http://www.edu.city.yokohama.jp/school/es/hiranuma/>



成功の裏に見える確かな準備

校長 長谷川 絹子

すっかり暖かくなり春爛漫です。石崎川プロムナードは、いつも手入れがゆきとどいており、季節ごとの草花や木々の様子が心を和ませてくれます。今は、八重桜の花びらのじゅうたんやコデマリ、ツツジ、モッコウバラなどの花、それぞれ木の透き通るような新緑に見とれてしまいます。そして、その華やかな中にひっそりと生えている「コバンソウ」を見つけました。細い糸のような枝から小判のような形の穂が幾つも垂れ下がっている、私の好きな野草の一つです。こんな都会で見つけることができ、うれしくなりました。ぜひ探してみてください。いつもよく手入れしてくださっている方々に感謝しながら春を楽しんでいます。

さて、5月といえば、平沼カップがあります。昨年度、初めて結団式を見たときには大変感動しました。一人一人の子どもたちが、目を輝かせ、声を出し、精一杯「運動会の歌」を歌う姿は平沼の子どもたちのパワーを感じる圧倒的な姿でした。そして、その全校をリードし盛り上げているのは、応援団の子どもたちです。応援団の声は、他の子どもたちよりもさらに響くとともに、しっかりリードしていこうとする気迫が体育館いっぱいにみなぎっていました。

なぜこのような子どもたちの姿を創り出すことができるのでしょうか。ただ場を設定し、集ってもこのような活気ある姿にはなりません。今までに見てきた上学年の輝いている姿にあこがれ、覚悟をもって応援団に立候補し、狭き門を通過し、自分も輝く存在になりたい、みんなを盛り上げたいと練習に励んできた応援団。クラス代表の応援団のために自分たちが一緒に盛り上げていこうとする仲間。クラス内での応援団をつくり平沼カップを楽しみにしている低学年の子どもたち。事前にクラスでしっかり話し合い、それぞれの立場で気持ちをつくり、きちんと準備ができているのです。

何事も成功するためには、「準備7割、本番3割」だと思っています。当日は、計画に従いながらも臨機応変に行動する力を発揮したり、仲間と体験や思いを共有したりすることが成功につながります。平沼カップでは応援団や競技、演技だけでなく、係の活動をしている子どもたち、開閉会式、スローガン、シンボルマークなど、今までどんな準備や練習をしてきたのか、ご家庭でどんな会話が生まれていたのかなど、7割のプロセスを想像しながら、盛大な応援をお願いいたします。

5月30日には、南極教室があります。本校のお子さんのお父様が南極地域観測越冬隊として昭和基地に行かれているため実現しました。当日は全校児童が6校時に、体育館で南極との衛星回線でテレビ会議を行います。南極を通して、地球や宇宙に関心を持ち、考えるきっかけになることを期待しています。

明日から子どもたちは10連休となりますが、お仕事が入っているご家庭も多いかと思います。少ない時間でもご家族でのふれあいを大切に、元気に令和元年5月7日に会えることを楽しみにしています。